

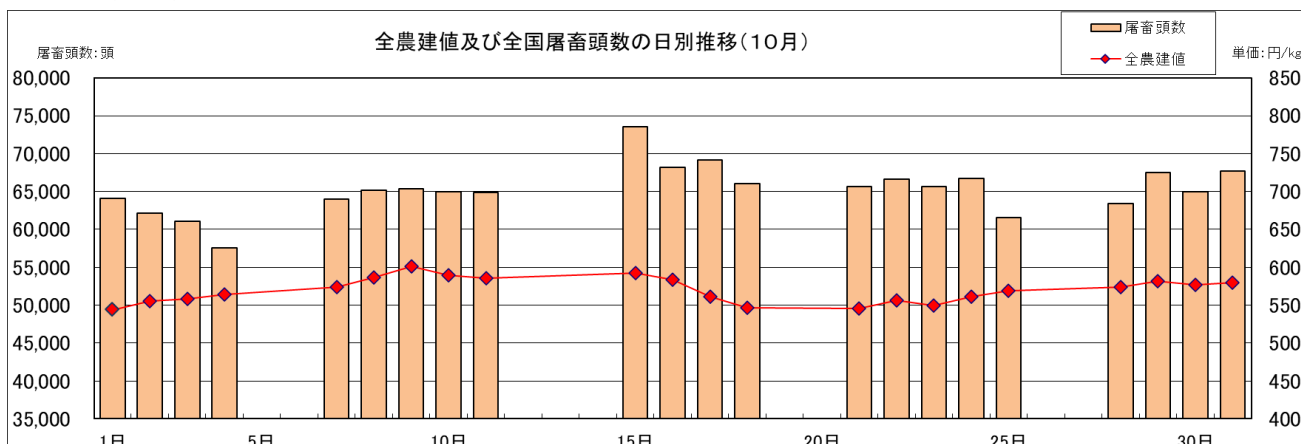
肉豚インフォメーション（10月）

●10月の動向

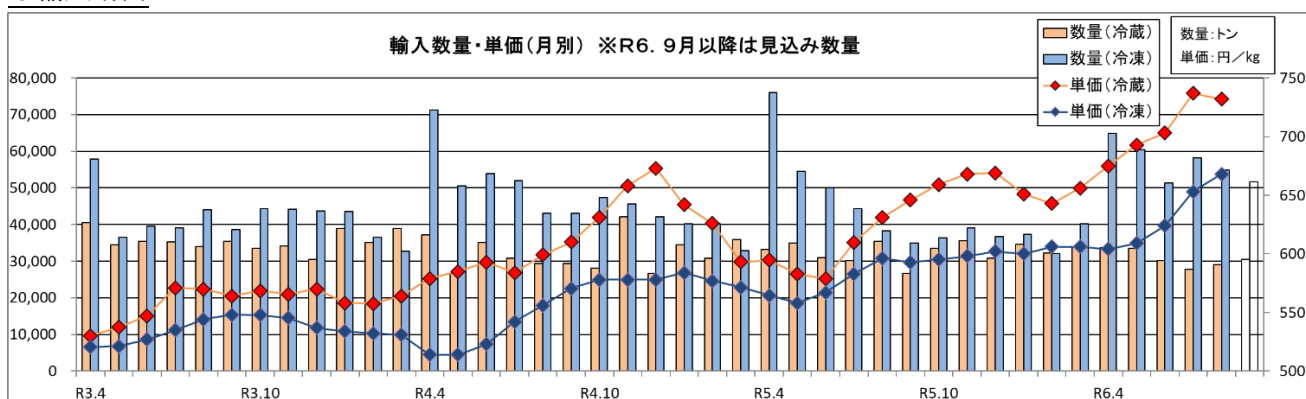
2024年10月（税抜）	2023年10月（税抜）
570 円/kg（53 円高）	517 円/kg

※全農建値

10月は、例年に比べると残暑の影響もあり気温が高く、夏日が続くなど、予想以上に出荷頭数は増えなかったことや、BBQ やイベント等の需要もあり、枝肉相場は上物中物共に600 円（税込）を超えるなど、この時期としてはかなりの高値相場となった。

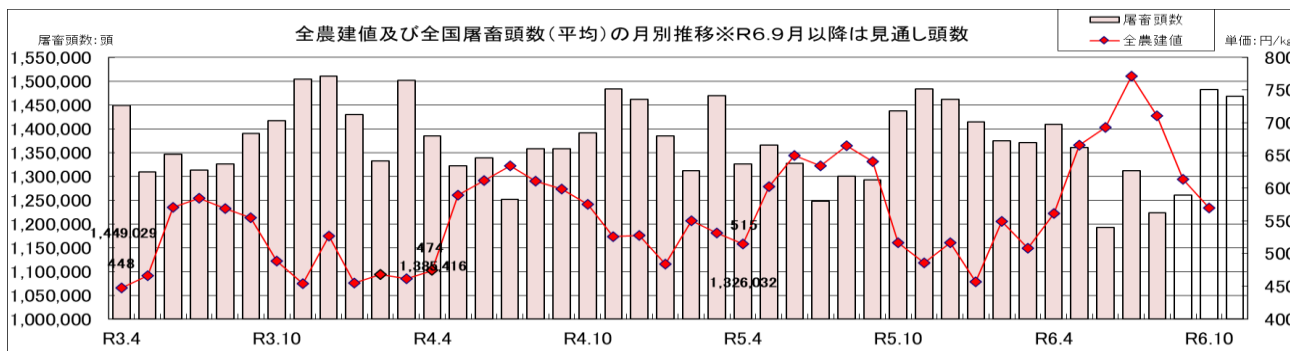


●輸入動向



●11月の動向

11 の出荷頭数については、前年同月比微減・平年並み、相場は軟調な相場展開と予測。

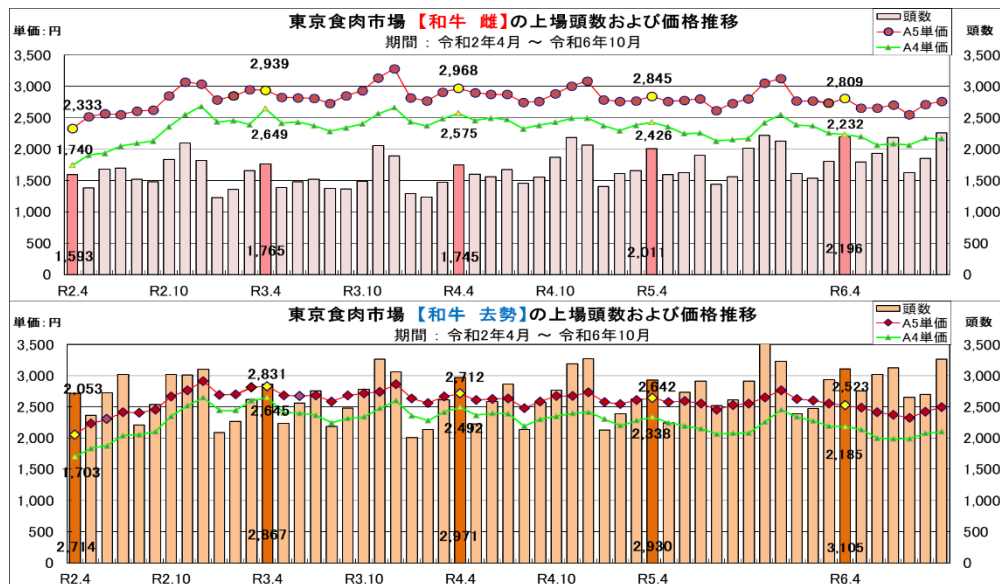


全農建値（税抜）予測レンジは 450 円～550 円とする。

肉牛インフォメーション (10 月)

●10 月の動向

10 月の相場は、共励会などが多く開催されたこともあり、和牛で高品質なものが多く強もちあいで推移した。交雑牛は、9 月と比較してやや引き合いが落ちた。



●11 月の動向予測

11 月は例年年末に向けた手当て買いがスタートする。また、肌寒さが増してきたことから、秋冬向け材料の需要が徐々に伸びてくるため、10 月と比較して、やや強もちあいで推移すると考えられる。

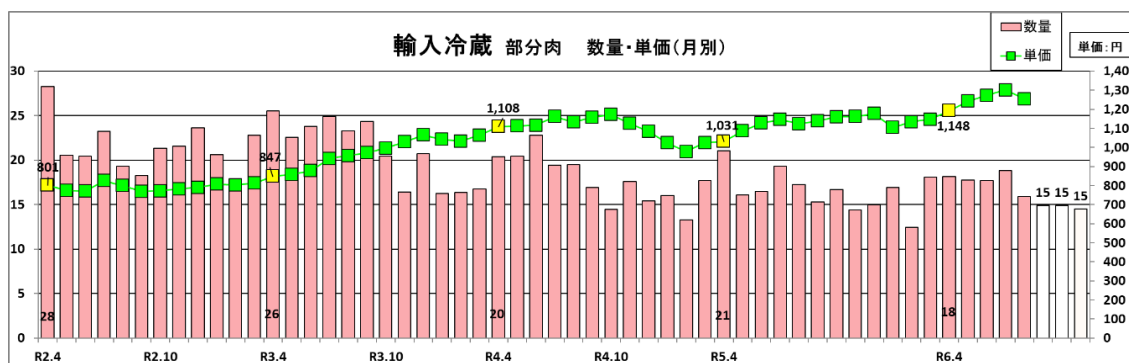
11 月相場は「やや強もちあい」の展開と予想。

和牛去勢 A5 等級 2,500 円 (税込み) A4 等級 2,100 円 (税込み)

交雑去勢 B4 等級 1,750 円 (税込み) B3 等級 1,550 円 (税込み)

●輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、国内需要の低迷により低調に推移する中、10 月は、輸入量のほとんどを占める米国産及び豪州産輸入量の減少が見込まれること等から、前年同月をかなり大きく下回る一方、11 月は、現地相場高の影響による米国産輸入量の減少等で前年同月の輸入量が少なかったこと等から、前年同月をわずかに上回ると予測する。なお、3 カ月平均では、前年同期をやや下回る予測する。(ALIC 牛肉の需要予測について 10 月 29 日)



食肉インフォメーション（10月）

●10月の動向

○牛肉

量販店では秋冬向けの売り場づくりが進み、ロイン系の販売も回復傾向が見られた。

週末や三連休は天候に恵まれ、バーベキュー需要もみられたが全体的には鈍い荷動きとなった。

また、輸入牛肉の相場が落ち着きを見せたことで乳用牛への代替需要は弱まった。

○豚肉

日中は異常な暑さが続いたが朝夕は気温が下がったことで、鍋物需要は徐々に増加しており、バラやカタロースなどのスライス商品に引き合いがみられた。

相変わらず、消費者の節約志向は続いているが、量販店も特売を組むなど、売場環境を整えており、ウデやモモなどのスソ物やバラは堅調な荷動きとなった。

●11月の動向予測

○牛肉

10月のように日中の気温が高い日が続くと、伸び悩んでいた焼き材の消費が、BBQなどによる需要に期待が持てる。また、行楽需要により外食・ホテルなど業務用の引き合いも強まる見込み。

近年はロースの荷動きが悪くなっているが、今年はカタロースも不振となり、カタ・モモへのシフトがさらに進むと予想。

交雑牛は和牛の代替商材として、量販店の需要が継続的に安定する見込み。

○豚肉

11月に入ると気温の低下に伴い、スーパー・量販店では、鍋物中心の売り場展開となるが、加えて秋の行楽需要によるBBQ商材の提案も行われており、スライス用のバラや肩ロースなどの荷動きも期待できる。

下旬には年末に向けてロース系の引き合いも強まることが予想される。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和6年9月期） 単位：千円、%

年度	J A どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和4年度9月	23,728	5,838	28,488	19,083	8,092	5,875	91,104
令和5年度9月	23,697	5,969	28,107	21,337	10,123	6,103	95,336
令和6年度9月	20,955	6,767	35,551	17,587	8,453	5,024	94,337
増減（R5-R6）	-2,742	798	7,444	-3,750	-1,670	-1,079	-999
対比（R4/R6）	88%	116%	125%	92%	104%	86%	104%
対比（R5/R6）	88%	113%	126%	82%	84%	82%	99%